



みさき

20号

2010年5月10日発行

美咲町議会だより

主な内容

22年度当初予算 109億円

予算特別委員会

③～⑤

定本町長らしさの町政とは

議員14人が一般質問

⑧ 21

全国から8町の議会議員が来町

議会だより視察・研修

22

家族づれでにぎわった“さくらまつり”(三休公園)

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

3月 定例会 の報告

3月8日から25日まで

定例会が招集され、21年度補正予算および、22年度一般会計当初予算など予算55件、条例5件、その他4件の議案が上程された。

条例の改正

条例の改正が上程され、審議の結果承認した。主な内容は次のとおり。

特別職の給与を減額

〔賛成多数〕

◎町長等の給与および旅費に関する条例を一部改正

◎教育長の給与等に関する条例を一部改正

特別職職員の給与に関する国の法律が改正されたため、町長一万五千元、副町長一万二千元、教育長一万千円をそれぞれ減額する。

職員の深夜残業手当割合を引き上げ

〔全会一致〕

◎職員の給与に関する条例を一部改正

労働基準法が一部改正されたため、月に六十時間を越えた時間外・深夜残業手当の支給割合を引き上げる。

旭地域へ特養老人ホームを建設

〔全会一致〕

◎老人福祉センター・

ディサービスセンター設置および管理に関する条例を一部改正

福祉の里「あさひが丘」に地域密着型特別養護老人ホームを建設するため、施設を美咲町社会福祉協議会に無償貸与する。

道路占用料金の金額を変更

〔全会一致〕

◎道路占用料徴収条例を一部改正

道路法施行令の一部が改正され道路占用料に変更が生じたため。

陳情・請願

敬称は省略させていただきます。

労働者派遣法の抜本改正を求める陳情

岡山県労働組合会議

議長 花田雅行

労働者の雇用条件を平等とすることが日本の社会・経済の安定につながることから、全会一致で採択とした。

労働者の賃金・労働時間を補償する公契約条例の制定を求める陳情

岡山県労働組合会議

議長 花田雅行

美咲町の現状にそぐわない部分があり、全会一致で不採択とした。

後期高齢者医療制度の廃止と国民が望む医療制度に関する請願

全日本年金者組合

岡山県美作支部

支部長 葛原 智

高齢者の医療費負担増加が見込まれている。現行制度について議論の結果、賛成多数で採択とした。

議員発議

後期高齢者医療制度の廃止と国民が望む医療制度を求める意見書

後期高齢者医療制度を廃止し、高齢者の医療費負担を軽減するため国庫負担を増額すること。

労働者派遣法の抜本改正を求める意見書

働く者の低賃金と雇用破壊が深刻な生活実態を生んでいる。経済不況を招いた元凶となっている労働者派遣法の抜本改正を行うこと。

国土交通行政の執行体制強化を求める意見書

防災および生活関連に伴う予算を重点配分すると共に国土交通省の事務所・出張所の組織を敏速に対応できる体制にすること。

核兵器廃絶に向けた取り組みを求める意見書

核兵器廃絶などを定めた「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPTR再検討会議での採択に向けた取り組みを行うこと。

これらを強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

● 22年度当初予算

福祉と教育に重点の予算

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比12.6%増

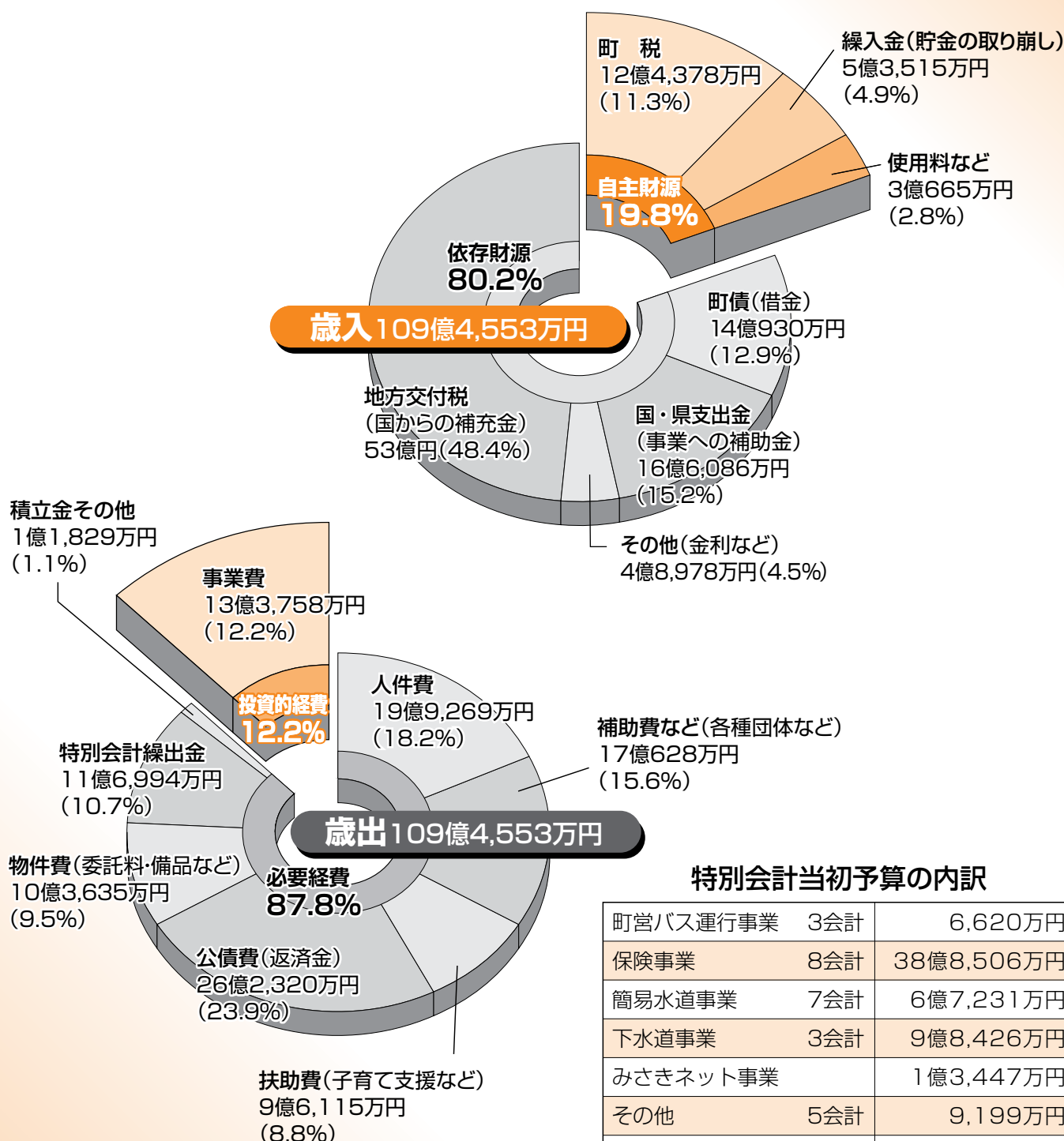
前年度比4.9%減

一般会計

27特別会計

109億4,000万円

58億3,000万円



責任ある計画的財政運営を

予算特別委員会(3月18日・19日)

22年度一般会計および特別会計の審査を行った。

町の現状は景気低迷により、町民税、固定資産税など自主財源の減収が予測される。一方で中央中学校建設などの大型事業が控えている。

22年度一般会計当初予算は、前年度比12・6%増の百九億四千五百五十三万円。主な事業費は本格化する中央中学校の建設に約八億円、月額一万三千円を支給する子ども手当に約二億四千万円、特別養護老人ホーム・認知症対応型グループホームの設立などに一億八千六百万円などである。

収入は、自主財源と地方交付税など。財源の不足は十四億円強の町債(借金)で埋めている。必要性の高い事業に投資とはいえ、将来的に負担が増大する。借り入れには有利な方法を求めた。

27特別会計の総額は、五十八億三千四百二十九万円(前年度比約三億円の減)。

一般会計から特別会計への繰出金は総額約十一億七千万円にも上り、財政硬直化の一因でもある。繰り出しの大きなものは、国民健康保険、介護保険、簡易水道・下水道事業である。

合併特例もあと5年。一般会計、独立採算が基本の特別会計を含めて、財政の問題には計画的に取り組む必要に迫られている。これらの点に十分留意した予算執行を求める。

予算特別委員会

主な質疑応答

【総務課】

問 職員研修費は前年より大幅増の三百十四万円。研修内容は。

答 千葉県・滋賀県自治体研修センターでの研修にかかる旅費や自治大学校への長期研修費用。

問 派遣航空消防隊員への負担金百二十八万円とは何か。

答 県の防災ヘリ運行への負担金。

【企画財政課】

問 国際交流事業費二百八十六万円の使い道は。

答 英語圏へのホームステイなどを計画。

問 電子入札費用百八十二万円とは。

答 県下全体で開発中のシステム経費負担金。

問 うたのしも団地の採算は取れるか。

採算は取れる。
【健康増進課】
問 独り暮らしの高齢者などの生活を支援する安心生活創造事業九百十一万円の使い道は。



どんどん家が建ち始めたうたのしも団地

答 うたのしも団地造成の総事業費は三億千四百万円、実質的な町負担は一億三千八百万円。完売すれば

答 運営主体となる社会福祉協議会への人件費など。七十人のサポーターはボランティアとなる。

【住民課】

問 子ども手当の町内対象者は何人か。

答 千九百七十人を見込んでいる。

問 かめつこ保育園への入園希望が多いと聞くが現状は。

答 定員二百人に対して二百十四人が在籍している。22年度は対応できる。

【上下水道環境課】

問 町独自の新エネルギー推進事業費二百万円の内訳は。

答 太陽光発電は上限十万円。ハイブリッド車は13年以上前の車買替えに十万円、その他は五万円を助成。21年度は太陽光68件、ハイブリッド車26件の申請があった。

問 国が中止するまで続ける。

問 町には七つの簡易水道があるが、この運営は今後どうなるのか。

答 国は、28年度までに会計の健全化を目指した上水道企業会計への移行を指導している。その場合独立採算となるため、水道料金を約25%程度値上げせざるを得なくなる。

問 下水道事業の完結率は。

答 中央地域は25年、柵原地域は35年の完成予定。接続率は52%。

問 環境保全対策費にはウエス産業監視経費も入っている。

答 住民の不安解消のため町独自で監視を行っている。

【産業観光課】

問 休憩所整備費三千万円は何か。

答 国道429号線沿いのJA津山旭支所敷地内に休憩所・農産物直売所を建設する。

【建設課】

問 美作岡山道建設負担金に七百五十万円を計上。しかし、町内の工事は始まっているが。

答 五千二百五十万円の負担金を毎年関係五市町で完成まで支払う必要がある。期成会で要望しているが見通しは立っていない。

問 道路台帳整備費七百六十二万円。増額してでも早急に町全域の台帳整備を進めるべきでは。

答 早急に整備したいが予算の増額は難しい。順次進める。

【情報交通課】

問 町内の巡回バスには多額の費用がかかっている。無料で

運行している市町村はあるか。

答 県内には無い。最も安いのは井原市の乗車料一回百円。

問 片鉄沿線バス負担金四百六十万円は適正か。

答 三市町で総額三千万円を負担している。利用者も年々減少傾向にあるため町の支所間バスの運行範囲を検討して負担軽減に努める。

【保健福祉課】

問 社会福祉事務所を開設して一年経過した。相談業務、生活保護の状況は。

答 相談室を設けて各種相談に応じている。生活保護は現在百二十世帯。

問 都市部で生活保護費の不正受給が問題化している。町では大丈夫か。

答 民生委員による調査をもとに適切に対処している。

問 22年度の高校生医療費無料化に必要な予算は。

答 高校生分は年間約四百二十万円を想定している。

問 国民健康保険会計は基金も底をついている。22年度は保険税の値上げをするのか。

答 国保税の収入は伸びないが、医療費は年々増加している。22年度は現状を維持するが、今後は値上げを検討する必要がある。

【教育委員会】

問 夢咲クラブとスポレク柵原への助成は今年が最終年となる。今後はどうするか。

答 二団体への配分は会員数に応じて三百四十万円と百六十万円に振り分けている。3年間で終わりたいが方向は決まっていない。



こうふく 幸福広場で幸福を呼ぼう (かめっち。食堂)

常任委員会から

総務

一般会計の総額 120億円を超える

21年度一般会計など補正予算案件8件、条例案件、陳情など付託された16件を審査した。予算8件および条例3件、陳情1件、意見書1件は全会一致で、条例2件は賛成多数で承認。陳情1件は不採択とした。

◎一般会計補正予算

歳入歳出に二億九千四百十五万円を追加し、総額百二十億八千二十四万円とするもの。

【主な歳入】分担金および負担金千七十六万円、国庫支出金二億八千八百八十六万円、諸収入千七百一十万円、町債一億三千七百十万円。町税千八百四十四万円減額、自動車取得税

交付金千五百万円減額、県支出金四千五百四十六万円減額。

【主な歳出】財産管理

費一億千九百七十九万円は教育施設整備など基金積立金。企画費四百八十万円は町営分譲宅地購入補助金。防災対策費二百四十五万円は防災情報通信設備整備費。

なお、役場庁舎・防火施設・バス待合所などの施設整備は22年度に繰り越して予算執行を行う。

◎特別会計補正予算

共同バス運行事業など七会計は事業の確定による増減。

■主な質疑応答

【総務課】

問 月曜日の役場窓口時間延長の効果は。今後の対応は。

答 それなりの効果はあったが、今後は通常業務で対応する。

【情報交通課】

問 ユビキタス事業で整備した防災カメラの設置状況は。

答 カメラなど機材の検査は完了、3月末に完成する。町内12カ所に配置し4月初旬からみさきテレビで



新設された防災カメラ（三休公園）

問 選挙投票所の統合について検討しているか。

答 期日前投票も浸透してきているので協議していきたい。

問 滞納税金徴収プロジェクトでの成果は。

答 滞納整理組合へ依頼した効果が上がってきている。

民生教育

中央中学校の建設費 4億5千万円

付託された議案を審査し、予算案9件は全会一致で承認。請願1件は賛成多数で採択した。

◎一般会計補正予算

新型インフルエンザなどの予防接種実績による二千四百四十五万円の減額。子ども手当システムの経費四百七万円の増額。各保育園人件費確定による千七百万円の減額。中央中学校建設費四億五千九十万円の増額。なお、中央中学校建設費は22年度へ全額繰り越して執行する。

◎特別会計補正予算

国民健康保険事業など八会計は、事業の確定などによる増減。

■主な質疑応答

【住民課】

問 育児支援手当四百五十万円の減額は。

答 小学校就学前で保育園に通っていない在宅児一人に月額一万円を支援金として支給するもの。確定による減額で、入園者の増減と出生数の減少などが原因。

【保健福祉課】

問 国民健康保険事業の会計は年々厳しい状況である。22年度の保険税はどうなるのか。

答 約八千万円の収支不足である。22年度は基金の繰り入れを行い現状の保険税を確保する予定。



増築された健康増進の拠点（美咲町中央保健センター）

【教育委員会】

問

さくらグラウンドなどの施設を有効利用するために、大学など部活動の合宿を誘致してはどうか。

答

宿泊施設などの課題もあるが、検討していきたい。

問

全国一斉学力テストは抽出式とな

答

ったが、本町ではどのように実施するのか。町内全小・中学校で実施する。結果の公表はしない。

産業建設

合併浄化槽 設置補助金を減額

付託された一般会計、特別会計補正予算案件など12件を審査した結果、全会一致で承認した。町道の新設・変更・廃止の3件は現地を確認し認定とした。

◎一般会計補正予算

有害鳥獣駆除費二百二十九万円、県事業負担金に二百四十七万円、合併処理浄化槽補助金五千四百四十五万円減額、土地改良事業費六百二十三万円減額、道路台帳補正事業費二百二十万円減額、災害復旧費千七百二十七万円減額。減額補正は事業確定によるもの。

◎特別会計補正予算

柵原三簡易水道特別会計四千八百十五万円減額は事業費の変更。その他簡易水道事業六

会計と下水道事業三会計の補正は事業確定による増減。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問

合併処理浄化槽補助金の他市町村との比較は。

答

他市町村より補助率は高い。

問

簡易水道事業が28年度で終了となる。その後の予定は。

答

給水人口五千人以上が対象の上下水道事業に切り替えて企業会計としたい。

問

水道料金の値上げはいつから行うのか。

答

23年度をめどに調整中。



急がれる道路台帳の整備

【産業観光課】

問

岡山県がノートリアの実態調査を実施したが報告はあったのか。

答

結果報告はないが、早期に駆除要請を行う。

【建設課】

問

県事業に対する町の負担割合はどのくらいか。

答

急傾斜地5%、道路改良15%など。事業内容によって異なる。

問

道路台帳整備が遅れている。今後の予定は。

答

町全体の道路台帳整備には五千万円以上の経費が必要。現状は急ぐ十路線を対象に台帳整備をしている。

問う

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

火災予防の

取り組みを急げ

計画的な施設整備を

進める

答弁



草薙良明 議員

問

町民の安心・安全と財産を守る消防団員の日夜の訓練と心配り、行動力に感謝しなければならない。

しかし、火災が発生した時に近隣住民の手による早い対応があればこそ大事に至らなかつたという事例が過去にいくつもある。緊急事態への備えとして消火栓・ホース・防火水槽の新設と従来の施設点検を急げ。

答

定本町長

町民の安心・安全

答

杉山総務課長

全を守ることは行政の一番の仕事である。火災は地区の方々の初期消火が大きな役割を占めている。行政・消防団・自治会が中心となつて一人ひとりの防火意識向上に努める。設備の整備については関係者と協議しながら計画的に進めていく。

21年度予算で防火水槽の新設を3カ所計画している。消火栓、ホースの整備は要望が多いため消防団など関係者と協議して随時進めていく。

質問

黄福レンガを使った町発展の構想は

“美咲黄福物語”を描きたい

答弁

問

町長は「黄福レンガ」について新開インタビューに答え



黄福レンガで完成した“かめっち。食堂”

答

定本町長

町内の公共施設、観光施設などに黄福レンガを配置して黄色い幸せな町のイメージで美咲町をアピールし、観光地をルートで結ぶ「美咲黄福物語」として商標登録する。最小の投資で最大の効果を上げるよう努めている。

答

定本町長

製造元に確認したところ中和したものをレンガに焼いているので色は当分の間は変わらないとのことである。値段については今後大量生産することで単価も下がると期待している。

問

町の活性化につなげる。坑内水の内容分析は行っているか。

答

山下産業観光課長

旧柵原鉱山の坑内水は環境省告示第46号の方法により溶質検査を実施。レンガは化学物質試験方法により溶質試験を実施。両方共に有害物質は検出されず無害である。

問

坑内水には鉄分が多く含まれていると思われるが、空気にさらされると黄色いレンガが赤いレンガになるのではないか。また、レンガ一個の値段が三百円は高いが。

町政を

質問

予算に見る

町長「らしさ」とは

選択と集中そして

緊急性重視

答弁



角南憲一 議員

問

選択と集中の中で定本町長「らしさ」を反映した当初予算の特徴は。

答

定本町長

問

本年度は中央中学校の建設がある。選択と集中の中で緊急性の高い政策から予算化した。子育て支援・少子化対策・老人福祉など民生費に二十六億七千万円を計上した。また、新エネルギービジョンの策定を行う。

べき予算措置を伴う施策は。

答

定本町長

協働のまちづくりとは別に地域活性化の計画を募り、優秀な地域に特別交付金を交付する。また、国民文化祭が岡山県を主会場として行われるので、大井和西の棚田を中心に柵原地域・旭地域を含めた美咲の文化を示していく。

住民サービスに

取り組む姿勢を

示せ

問

月曜日に行った窓口業務の時間延長は町民サービスにつながったのか。

答

杉山総務課長

12月から2月までの月曜日12日間窓口業務を延長した。108件の受付があった。

答

定本町長

職員からの提案だったことを高く評価している。実績については総務課長の報告のとおりで、利用が多いか少ないかの判断は異なると思うが、窓口業務の延長は終了とする。次の改革案に期待してほしい。

問

本庁舎に入りにくいとの声があるが配慮の考えは。

答

定本町長

耐震工事に伴いフロアスペースに変化が生じたので、職員の座席を対面方式から横並びの方式に変えるよう検討している。

地域間格差の

是正を考慮せよ

問

周辺部が寂れていくが活性化策の

考えは。

答

定本町長

どこの町村でも一番頭の痛い問題である。行政としては総合支所の機能強化と観光地の周辺整備をして、かつての賑わいを取り戻していきたい。

問

中小企業の育成に努力しているのか。

答

形井副町長

最近小さな商店も含めて、町内で営

業されている方々を最優先する方向転換を図っている。

問

高齢者がバランスの取れた食生活を確保するための対応は。

答

定本町長

正しい知識の普及と共に買い物をしやすい環境整備を図る。新しい福祉の形、サポート福祉という生活支援サービスの実現を目指す。



模様がえて親しみやすくなったかな？（本庁フロアー）

質問

分譲団地に 防犯灯の設置を 補助金を活用して 地元対応を望む

答弁



下山和由 議員

問

町営分譲住宅団地の住民から団地内に防犯灯の設置を望む声がある。住居が点在する中で防犯・防災の役目を果たす防犯灯の設置はできないか。今後の分譲促進を考えると各団地内に2カ所程度は設置すべきではないか。

答

定本町長

地域内の防犯灯は町では設置していない。今後は町の防犯灯設置補助金を活用して地元で対応を図ってほしい。

問

大戸下団地内の分譲地案内板にライトアップはできないか。

答

定本町長
今後検討したい。

質問

山間地の防災・防火 対策を見直せ

答弁

緊急を要する所から対応

問

山間地では近年特に空き家が多く一人暮らしの住居も多い。初期消火が遅れば大事になりかねない。防火水槽の点検整備はできているか。消火栓位置の変更、消火ホースの追加、ホース収納箱の改善など消防団からの要望もある。行政として今後の対応は。

答

杉山総務課長
防火水槽は地元と消防団に管理をお願い

問

防災無線放送が届かない地域に火災通報装置の設置はできないか。以前の警鐘台に代わるものとして。

答

杉山総務課長

地域での防火意識の高揚という面から地元での設置検討を望む。

問

町内に防災カメラが12カ所設置され最新の情報が町民に

みさきネット
加入促進の現状は



防火水槽の点検・整備は万全か!? (原土地内)

みさきネット加入率の現況

告知放送	92%
ケーブルテレビ	41%
インターネット	28%
I P 電話	40%

(平成22年2月末日現在)

答

中西情報交通課長
監視カメラでの

伝達されることになるが、みさきネットへの加入率が悪い。加入率が上がってこそ事業の真価が問われるのではないか。料金改定の予定は。情報のみさきテレビで知らせる。地上デジタル放送にはいつでも対応できる。料金は近隣市町に比べて美咲町が一番安いので今のところ改定は考えていない。

質問

定本町長「らしさ」の政策とは

活性化や良き文化を

継承する

答弁



金谷高子 議員

問

本年度は定本町長「らしさ」を出

していくとのこと、町民も期待している。

所信表明の中では地域の発展・活性化のため、優秀な計画を立てた地域に百万円の奨励金を交付するとの発言があった。

答

定本町長

協働のまちづく

しかし、協働のまちづくりの足並みがそろっていない現状では、奨励金よりも地区の助成金を拡充しては。



大盛況！吉岡ふるさとまつり（柵原地域）

っている地域に奨励金を提供しようというのが狙いである。

今年は国民読書年

町の取り組みは

問

今年は「国民読書年」キャッチフレーズは「じゃあ読もう」である。一年をと

りはまだ十分に浸透できていない。また現在の交付金では全体がまかなえる金額ではない。そのような状況でも、活性化し良き文化を継承しようがんば

おしてあらゆる世代に呼びかけ、国民全体で本に触れ合う機会を増やそうというのが国の

取り組みである。

美咲町の取り組みは。

答

泉教育長

国民読書年に対

する学校の取り組みは、全校一斉の朝の読書活動などさまざまな取り組みを考えている。また、家庭での読

書活動を支援するため、読書会の開催も計画している。今後「じゃあ読もう」という趣旨の実現に向け努力していく。

ワクチン助成へのさらなる充実を

問

21年度で配布した女性特有のがん検診クーポン券の使用状況は。

答

村島健康増進課長

クーポン券の使用状況は▽子宮がん検診九十七人▽乳がん検診百六十三人という成果が出ている。がん検診全体の受診者数は▽子宮がん検診八百八十

一人が昨年より百十七人の増加▽乳がん検診九百五十一人で昨年より百六十一人の増加。

クーポン券により費用負担がなく受診できたため全体数も伸びたと考えている。

問

子宮頸がん予防ワクチン、子ども

が髄膜炎にならないヒブワクチンへの助成金の充実を望む。また、脳の脊髄液減少症の啓発活動を早期に取り組むべきである。

答

村島健康増進課長 細菌性髄膜炎は

乳幼児期にかかる重い病気です。ヒブワクチンの予防接種は生後2カ月から5歳未満の乳幼児が対象。髄膜炎の予防には効果的である。各種ワクチンへの助成は供給状況と国の動向を見ながら検討していく。脳の脊髄液減少症については町として病気の啓発活動に取り組んでいく。

質問

子宮頸がん
ワクチンに助成を

国・県の動向を見て

対応する

答弁



梁山朝子 議員

問

子宮頸がんの99%はヒト・パピローマウイルス(HPV)の感染が原因であることがわかり、ワクチン接種と検診でほぼ100%予防できると言われている。奈義町では全額公費助成を開始した。

6カ月の間に三回のワクチン接種を行うため四〜六万円の費用が必要とされている。女性の健康と生命を守る立場での公費助成を考えてほしい。

答

定本町長

国や県の動向を見ながら対応を考えていきたい。

問

性行動が始まる前の10歳代に接種するのが効果的とされているため、少女たちへのワクチン接種と性教育での啓発が予防のカギとなるのでは。

答

泉教育長

性教育は学年に応じて行っており、重要性は指摘のとおりである。

子宮頸がんは新しいことなので、学校教育の中に導入するべく指導していく。



自転車通学は大変だ〜

後期高齢者保険の負担軽減を

問

後期高齢者医療制度の廃止が先送りされたため保険料の値上げが心配されている。負担の増額は町費で補てんできないか。

答

定本町長

22年度は年間で五千円ほど負担が増える見込み。国の制度では低所得者への配慮で

高齢者のテレビ利用料に減免を

問

テレビは高齢者の楽しみの一つである。年額一万二千円の利用料は高額すぎる。年齢、所得に応じた減免制度をつくれなか。

保険料の軽減措置をとっている。このため町費での補てんは難しい。

答

定本町長

みさきケーブルテレビは近隣の市町に比べれば安い金額に設定している。ご理解を願いたい。生活保護、障害者の方には減免制度を設けている。

通学自転車購入費の増額を

問

中学校へ自転車で通学する生徒に対しては、入学時に一万二千円が支給されている。スクールバスの運行費用を思えば自転車の購入費は全額を支給するべきでは。

答

泉教育長

現在、中央中学校百五十四人、柵原中学校九十人、旭中学校五人の自転車通学生がいる。現在の取り決めは、合併協議の中で、地域での話し合いを経て決定していることなのでこのまま続けていく。

質問 新年度予算の ネーミングは 安心安全 きめ細やかな予算 答弁



貝阿彌幸善 議員

問

新年度予算編成でもっとも苦慮した点は何か。また、岡山県は「あすの暮らし、未来の発展戦略予算」と命名しているが美咲町の予算はどのようなネーミングを付けるのか。

答 定本町長

予算編成にあたっては、経費増大に対する収入不足が一番の問題。不足分は財政調整基金五億三千万円で補てんする。

収入は町税が約一億円の減収見込みで、大変困難な予算編成であった。

ネーミングは、福祉重視と国民文化祭で地域の活力を生む「安心安全元氣な美咲町を作るきめ細やかな予算」

問

本町は町民一人あたり約百万円の借金。県が約六十八万円であるが安心予算と言えるのか。

答 定本町長

借金の約半分は交付税算入で返ってくる。財政の健全化に向けて将来負担比率は下げなければと考えている。

**補助金の
制度確立は急務**

問

現在、いくつの団体にいくらの補助金を支給しているのか。その際交付基準、審査機関の設置などの補助金制度は確立されているか。

答 難波企画財政課長

補助金は二百五十五団体、五百十六個人に五億一千四百六十万円、交付金は八十二団体に二千四百五十万円を補助金交付要綱の規則により支出している。

問

審査機関は定めていない。

補助金は民間団体の自発的活動を行政が支援し、広義の公共価値を実現する制度である。補助金が果たしている役割を明確化し、情報公開、規範理念を設定し、有効かつ適切に機能しているか、第三者が判断できる評価ができていないかなど明確な目標設定と十分な管理が必要である。

答 定本町長

交付基準をしっかりと定め、事業評価制度を取り入れていかなければと考えている。

**借地解消への
対応は**

問

公共施設の借地解消に向けた対応は進んでいるか。

答 難波企画財政課長

土地一件を22年度で購入予定。普通財産2カ所を分筆して売却、遊休地数件を公告により売却する計画の中。

答 定本町長

借地、指定管理、財産管理などは職員を一人配置して対応を図る。

**運行バスへの
対応は**

問

錦織地区から亀甲までの運行バス

答 定本町長

陸運局など関係機関と調整し、秋頃までには解消させる。亀甲から津山中央病院までの運行を有本観光バスと協議中である。



もっと便利に乗りやすく（かめっち。バス）

質問

新たな自主財源を

確保せよ

積極的に

取り組んでいく

答弁



松島 啓 議員

問

新たな自主財源の確保のため、バスなどの公用車に企業・商店・各種団体から有料で広告を募集してはどうか。また、庁舎や町の体育施設への広告掲示、役場の封筒などへの広告、イベント・公共施設の命名権の募集は考えられないか。

答

定本町長

バスへの広告募集は21年3月に規則を制定し、一年経過したが申し込みがない。募

集方法を検討したい。町内2カ所の野球場には町外からの利用者も多いので広告募集を試みたい。

広告を公共物に掲示するには相当な制限がある。近隣市町村の例も参考にして収入確保に取り組みたい。

みさきサミットの開催を

問

国内外、自治体間、地域間、公と民などの活発な交流・連携で情報の収集・発信をし、新たなまちづくりの活路が開けるのではないか。国内で友好都市提携の計画は「みさきサミット」な

答

定本町長

国内外の友好協定は今のところ考えていないが、総務省の事業で「定住自立圏構想」を検討している。この事業は、津山市と近隣五町で連携し、交通・文化・教育・医療などを協定して行うもので

ど開催できないか。国際交流事業は財政が許す範囲で行うべき。今後の計画は。



“たまごかけごはん”に大行列（B級グルメフェスタ in 津山）

ある。

サミットより近隣市町村との連携を図りたい。

国際交流は、英語圏の国と語学の習得などの目的でホームステイを考えている。

地域ブランドの

創出を

問

地域の特性を生かした「地域ブラ

答

定本町長

町の特産品としてブランド化するため「美咲ぶどう」というネーミングで全国に発信していく。ぶどう用2kgの箱に町の観光紹介など表示し、一万箱を町内の生産者に無料配布する。

「たまごかけごはん」は、以前から他県で取り組んでいる所があるので商標登録は考えていない。これからは《黄色い福》をキーワードに町内の観光地を線で結ぶ《美咲町黄福物語》を商標登録し、黄色を基調としたまちづくりを展開していく。

質問

町民に夢を与える

施策は

町内一周観光コース

が実現する

答弁



山本宏治 議員

問

町長は就任してから初めて当初予算を編成した。さまざまな施策の中で町民に夢を与えられるような施策としてはどのような考えを持っているのか。

答

定本町長

旅行社が町内の観光施設を結んだ日帰り旅行ツアーを企画・販売する。

主に京阪神地域で3月から販売を開始し、5月と6月に観光客が来町する予定。コース



傘の花咲くさくらまつり（三休公園）

は、食堂かめつち→大井和棚田→美咲ファーム→津山ホルモンうどん→柵原坑道農業→柵原鉱山資料館。名づけて「懐かしい味・景色を訪ねて、きんちゃい岡山、ご当地二大グルメと鉄道産業遺産の旅」。

問

旭地域の三休公園で4月1日から

さくらまつの駐車料金を百円に

答

定本町長

太陽光発電、木質バイオマスなどを代替エネルギーとする新エネルギービジョンを策定する。

問

町長が、これだけは是非やり遂げたいと思う事業は。

質問

地産地消で特産品の開発を

答弁

黄色にちなんだ特産品を

問

美咲町は、たまごかけごはん、で注目を集めているが、

問

北地区では「南天」の商品化に力を注いでいる。山間地域の側溝や道路には落ち葉が沢山ある。これを拾い集めた落ち葉ビ

答

定本町長

特産品開発は難しい問題である。卵の黄色にちなんだ特産品を考えていきたいと思っている。

答

定本町長

落ち葉を堆肥にしている町もある。ビジネスになるかどうかは別にして良い考え方だと思う。

答

定本町長

20日まで「さくらまつり」が開催される。町民に限り期間中の駐車料金五百円を百円にすれば住民サービスにつながると思うがどうか。

この駐車場収入は三休公園の維持管理費に役立っている。また、案内パンフレットにも記載しているため値下げはできない。

質問

エスコ事業で コスト削減を図れ

ビジョン策定時に

研究する

答弁



松田英二 議員

問

消費電力などの省エネルギー化、ランニングコスト削減に向けた取り組みは官民あげての重要な課題。その取り組みの代表的なものがエスコ事業である。

これは省エネルギー化を図るための設備改修を行う際に、工事の費用を省エネルギーによる経費削減分で賄うもので、新たな負担を必要としない手法。財政負担を必要とせず経費削減が望めるの

答

定本町長

であれば積極的に実施すべきと考えるが。22年度で策定する新エネルギービジョンの中にこのエスコ事業を取り入れながら研究していきたい。また、省エネについてもできる所から随時整備を進める。

問

津山圏域資源循環施設組合として、新しいゴミ処理場の建設準備が進められている。

ゴミ減量化へ
廃品回収の促進を

施設の長寿命化を図るためにはゴミ減量化・再資源化そして地

答

定本町長

分別すればゴミも重要な資源となる。そしてゴミの量が減れば最終処分場の延命、運搬費用の削減、焼却費用の削減など効果は大きい。廃品回収への報奨金制度は十分検討する。

問

LEDの活用で
地区負担の軽減を

協働のまちづくり交付金事業により防犯灯の維持管理はすべて地区負担となつたが、1基あたりの年



夜道の安全に大切な防犯灯

答

定本町長

うべき。LED照明は一般に普及していないため1基につき二万円程度と高額である。今少し普及を待つてから考えたい。地区負担の軽減については1基千円の交付金を二千円に増やす方向で考えている。

間電気料金が三千円弱と高額なため地区財政を圧迫している。加えて、蛍光灯の交換作業については中国電力が無料で行っていたものが23年度以降は地区で手配することになる。消費電力を減少させ、照明器具の寿命が長いLED機器への変更・改修を全町へ促進して地区負担の軽減策を行

質問

加美小学校の 施設整備状況は

早期の対応に向けて
努力する

答弁



江原耕司 議員

問

加美小学校プールは21年秋に改修工事着手の予定であったが、まだ着工できていない。今年の夏に間に合うのか。また、小・中学校で兼用する新しいプールとランチルムは何年度に完成するのか。

答

泉教育長

中央中学校建設に関連してプールの判断が遅くなったこと、冬季の工事が難しい点が重なって改修工事が遅れている。今シ

答

定本町長

小原から加美小学校までの通学路は、町道瓜畝線拡幅工事として計画している。21年度で設計費、22年度で事業費を計上した。2カ年で完成させる。

問

加美小学校への通学路拡幅工事の計画は怎么样了。か。

ーズンの使用に間に合うよう進めている。新しいプールとランチルム増築については、中央中学校建築工事の進行状況と財政状況を勘案しながら早期対応に向けて努力する。

答 定本町長
保育園児の送迎は保護者が原則。現状の対応をお願いしたい。

問

加美地区から、かめつち保育園に通う園児のバスによる送迎はできないか。

保育園への
バス送迎を望む

問

原田榎本地区の山中にひび割れがあり危険である。町道榎本今風呂線の道路改築で安全を確保することができると言うが対策は。

地域の難問に
対処せよ

答

池本建設課長

該当の箇所は17年頃に土砂災害防止法に基づいて調査し、毎年点検を行っている。町道改良については、要望書が出ているので検討中。

問

以前の質問で、地元住民の生涯学習活動には第二分庁舎の使用を、との答弁があったが、いろいろな制限があつて使いにくい状況である。今後の善処を望む。

答

定本町長

住民が自由に使える新たな施設を建設することは現状においては難しい。当面は、林業センターを活動の場として使ってもらいたい。



今年の夏には間に合いそうだ（加美小学校プール）

第2分庁舎は
使いにくい、善処を

質問

美咲流の

教育基本方針とは

地域の

教育力向上を図る

答弁



日神山定茂 議員

問

基礎的な知識・技術を習得し、確かな学力を身に付ける。将来へ希望を持ち、産業構造、雇用形態が大きく変化する中、社会人として生活していく上で、自らの能力を高め自分の可能性を発揮する力をつけること。

このことが教育の基本だと思うが、今後5年間で取り組む美咲町教育基本計画はどうなっているか。

答

定本町長

子どもたちが生

答

泉教育長

きていく上で基本となる確かな学力、豊かな心、健全な体を育てていきたい。社会全体で子どもたちの教育に取り組む、家庭や地域社会の教育力向上を図っていく。生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ文化の振興を図り生涯教育も大切にしていきたい。

職員、教師を中心に学校運営委員会、コミュニティスクールなどで開かれた学校として地域の教育力を生かしていきたい。有識者にも広くアドバイスをいただき、計画策定に取り組みたい。

桜の花で

まちづくりを

問

三休公園と湖畔の桜は大変すばらしく毎年多くの人が訪れて桜を楽しんでいる。町の土壌も桜に適していると言われており、桜博士もいる。

町内各地に桜を植えて町全体を桜の名所にしてはどうか。また、桜の花の切り枝、ケーキや菓子に桜の葉の粉末を入れて風味を出すパウダー、サクランボなどを町の特産品として取り組めないか。

答

定本町長

われわれも桜を大切にしながら次の世代に残していかなければならない。町として力を入れていきたい。

特産品としては、桜の木の灰を備前焼の土と混ぜて「桜湖焼」として全国へ発信している。切り枝など特産品として考えてみたい。

危険な道路の

安全策を急げ

問

町内の道路には大きな段差もあり走りにくい所が多くある。車イスを乗せた移送車などバウンドして大変危険だ。安全で走

答

池本建設課長

りやすい道にならないか。

国道・県道の悪い所は各部署に要望している。町道は維持工事で改修しており、新規の工事でも危険防止に努め安全な整備を行う。



懸命に授業に取り組む子どもたち

質問

町職員の

新規採用状況は

22年度は8人を採用

答弁



岩野正則 議員

問

景気の低迷から県内企業の求人が大変厳しい状況になっている。美咲町内の企業への就職内定者数はどうなっているか。

答

定本町長

町内企業への内定率は把握できていないが、岡山労働基準局管内の内定率は▽中学生10・7％▽高校生83・1％▽短大生70・8％▽大学生68・6％となっている。

問

町職員の退職希望者を募ることに

答

定本町長

国は早期勧奨退職の慣例を当面続行する。美咲町でも、その年の6月までに申し出れば勧奨退職扱いにするよう検討していきたい。

新規採用については、22年4月から8人を採用する。職員総数は二百人となる。

質問

保健センター
駐車場の拡張を

用地の確保に
向けて検討する

答弁



町民のために頑張ってください（新入職員辞令交付式）

問

保健センターに大講義室が増築されたことにより利用増加が見込まれるが、駐車場の拡張が必要になる。近接する総合体育館、武道場などと併用しても良いのではないかと。

答

村島健康増進課長
保健センターには二十台程度の駐車スペースしかない。利用

答

定本町長

者の皆さんには体育館・武道場周辺の活用をお願いしている。駐車場が狭い現状は感じている。用地確保の方法について検討する。

問

前町長宅への下水道公共マス設置工事費の請求状況は。

答

定本町長

当時の公共マス設置同意書の提出者である運送会社取締役あてに請求書を発送した。

問

他の宅地で不適切な公共マスの設置はないか。

答

定本町長

宅地の条件により位置は個々に違うが、基本的には宅地に入って2メートル程度の解釈で適正に協議して処理されていると判断している。

下水道公共マスの
設置は適切か

質問

どうにかならぬか

生活交通

難しい問題、

研究を続ける

答弁



岡田 壽 議員

問

福祉巡回バスの運行はあるものの、過疎化・高齢化・人口減により生活交通に不便な地域が増加している。よりきめ細かな生活交通施策の実現を求める。

民間の交通事業者に協力を求め、行政と利用者の三者で交通運営協議会を開催し、利便性の高い生活交通にする考えはないか。

答

定本町長

地理的条件での苦労は理解している。

町営バスの路線変更だけでは十分ではない。

先進地視察などで交通の勉強をしたが、決定的な施策がない現状である。まずは、生活交通ではなく福祉面から民間タクシーの利用などを考えてみたい。

町民の切実な思いを解消できるように研究していく。

地域公共交通協議会は有償のバス運行が変更される時にだけ開催している。



ぶどう園に生まれ変わる農地

質問

なくしたい耕作放棄地

答弁

3～5万円の支援申請を

募集中

問

国策で耕作放棄地の解消計画策定が21年～23年にかけて行われている。美咲町の解消計画は、耕作放棄地772ヘクタールの内50ヘクタールを保

全管理するもの。放棄地再生に向けた県へ配分の交付金も利用申請が少なく、多額の交付金が残っている。地域組織での取り組みが必要ではないか。

答

山下産業観光課長
農業委員会の調査では、耕作放棄地772ヘクタールの内、利用可能な農地は191ヘクタールとなっている。

美咲町の耕作放棄地解消計画は、再生利用緊急対策の交付金を利用するもの。21年度での申請はなく、全額残っている。

再生支援の内容は、荒廃程度により3～5万円、土壌改良の支援に10アールあたり二万五千元である。

町内には五つの営農組合があり、22年度中に二組織が計画。個人、組織を問わず耕作放棄地解消を目指したい。

再生支援の詳細をチラシにして広報みさき3月号と一緒に配布した。問い合わせは産業観光課へ願う。

質問

「協働」の方向付けは 行政の急務

基本は住民主体の

取り組み

答弁



小島洋征 議員

問

美咲町の「協働のまちづくり」は、旧三町の地域組織の組み方が異なっていたこともあり随分遅れた。遅れを取り戻し、事業を成功させるために五つの項目を提言する。

- ① 総務・企画・財政と共同歩調を取れる担当課を設置すること。
- ② 事務局経費なども含む総合的観点に立脚した予算の確保。
- ③ 交付金の地域配分は平等割を五割以上

とすること。

- ④ 中央地域のコミュニケーションセンターを早急に確立すること。
- ⑤ 全職員を事業に参加させること。

これらは地域が動いていくための基礎条件である。先進地では既にコミュニケーションバスの運営や学童保育の取り組みが地域で始まっている。

これらの点を直ちに方向付けることが、町行政の急務と思うかどうか。

答

定本町長

もとより「協働のまちづくり」は大切な課題である。地域ごとの課題に対して、住民が主体になって取り組み、

解決していただかなければならない。

行政としてはそれぞれの取り組みに対してアドバイスをしていくのが基本であって、行政からこうしてほしいと指示することではないと認識している。

以下、五つの提言に對して答えておく。

- ① 各総合支所に担当者一人ずつ置く。
- ② 予算面では、意気込みと自覚を持ち、活性化の計画を基にがんばる地域には百万円の助成、防犯灯の維持には二千万円の助成を考える。
- ③ 予算の地域配分は、平等割を五割にすると逆に不公平感が生まれるのではないか。
- ④ 中央地区にコミュニケーションセンターがないことは苦慮している。住民の皆さんから意見を出してもらえば、それを拠

点として整備することにはやぶさかではない。

- ⑤ おおむねの職員は、すでに協働のまちづくりに参加しているものと思う。

町長として、今後とも勉強していく。

税収の落ち込みに

対処せよ

問

町税収の見込みが21年と比較して八千七百万円減と過去

に例がない落ち込みである。民間の給与水準に合わせて特別職・職員のボーナスカットなどでしかるべき対応を。

答

定本町長

21年10月にでた県人事院の発表によると、民間給与と行政職給与の平均は約三十六万七千円で、さしたる違いはない。全体の奉仕者として公務員の給与は長期的なスパンで考慮すべきものと思う。



打穴ふれあいの会が協働のまちづくり先進地を視察
(和気町役場)

人事案件

執行部から提案された教育委員の再任に同意した。

(任期は平成26年5月13日まで)

教育委員会委員



桑元 秀子氏
(原田)

三船議長が

自治功労者

表彰を受賞

岡山県町村議会議長会から、美咲町議会議長・三船勝之氏が自治功労者表彰を受賞した。

議員活動を通じて、長年にわたり住民福祉と地方自治の進展に力を尽くした功績が認められての受賞となった。

全国8町議会

延べ50人が美咲町へ

視察来町

美咲町議会だよりが平成20年度全国議会広報コンクールで奨励賞を受賞して以来、全国各地の八町議会から広



積極的に意見交換する広報委員
(本庁3階大会議室)

報編集委員延べ五十人が議会広報視察・研修に来町された。

1月13日は、香川県広報発行町議会連絡協議会(綾川町議会・宇

城町議会から十一人。2月23日は鳥取県智頭町議会から六人。

活発な意見交換があり、議会だよりの重要性を再認識した。

臨時議会の報告(2月10日)

- | | | |
|---|---|--|
| <p>国の地域活性化・きめ細やかな臨時交付金、県補助金などを財源に緊急的な予算措置を行うべく、一般会計三億千八百五十万円などの補正予算案が提案された。この予算案件を臨時議会で審議し、全会一致で承認した。この予算は全額22年度に繰り越して予算執行を行う。</p> <p>主なものは次のとおり。</p> | <p>★防火施設整備事業
千三百万円
(防火水槽新設)</p> <p>★バス待合所整備事業
千万円
(西川バス停整備)</p> <p>★火葬場整備事業
二千万円
(美咲町火葬場トイレ改修ほか)</p> <p>★町管理住宅整備事業
千二百六十六万円
(藤原住宅屋根改修)</p> <p>★健康増進施設整備事業
千万円
(保健センター外壁改修)</p> <p>★観光施設整備事業
千八百五十万円
(ほほえみの湯ポンプ修繕ほか)</p> <p>★社会教育・体育施設整備事業
七千二百六十二万円
(飯岡体育館屋根改修ほか)</p> | <p>★義務教育施設整備事業
千五百万円
(小・中学校施設整備)</p> <p>★小規模土地改良事業
二千八百五十四万円
(農道舗装、かんがい排水)</p> <p>★文化財保護施設整備
七百五十万円
(展示施設・記念地整備)</p> <p>★美しい森林づくり基金整備交付金事業
四千六百五十万円
(林道小谷線・祖母滝谷線開設)</p> <p>★地域活力基金盤創造交付金事業
千五百万円
(町道瓜畝線測量設計)</p> |
|---|---|--|
- 平成21年度 2月臨時議会**

◎一般会計補正予算

★庁舎内情報システム更新事業
千四百八十万円
(サーバーの更新)

★役場庁舎整備事業
三千万円
(本庁舎、柵原総合支所庁舎空調整備)

◎一般会計予算
総額は117億円

これにより、一般会計は百十七億八千六百八十万円の計上となった。

組合議会からの報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域消防組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

2月5日、定例会を開催し、22年度一般会計予算二十三億二百九十万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山農業共済事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)

2月5日、定例会を開催し、22年度一般会計予算四億千七百万円など7議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域資源循環施設組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

2月4日、定例会を開催し、22年度一般会計予算五億二千二百九十八万円を審議、賛成

多数で可決した。

津山圏域衛生処理組合

(津山市、鏡野・美咲町)

2月2日、定例会を開催し、22年度一般会計予算五億六百六十九万円を審議、全会一致で可決した。

中部環境施設組合

(真庭市、美咲町)

3月24日、定例会を開催し、22年度一般会計予算三億三千万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域西部衛生施設組合

(津山市、鏡野・美咲町)

2月2日、定例会を開催し、22年度一般会計予算二億九千万円を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西栗倉村、勝央・奈義・美咲町)

2月19日、定例会を開催し、22年度一般会計予算二億三百二十万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎し尿処理施設が老朽化したため、経費削減も考慮の上22年度で勝央町下水道浄化センターへの接続工事を実施する。

柵原吉井英田火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

3月26日、定例会を開催し、22年度一般会計予算千五百万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)

3月26日、定例会を開催し、22年度一般会計予算五億二千二百八十万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎22年度で特別養護老人ホーム吉井川荘増築工事(二十床増床)を実施する。

久米老人ホーム組合

(静香園)

(津山市、久米南・美咲町)

2月24日、定例会を開催し、22年度一般会計予算一億六千五百六

十万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山広域事務組合

(津山市、勝央・奈義・鏡野・久米南・美咲町)

2月5日、定例会を開催し、22年度一般会計予算一億三千万円、特別会計予算千三百万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎22年度で雇用労働センター屋根・外壁など改修工事を実施する。



広域行政の要、津山圏域雇用労働センター



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第7回

地産・地消!! お母ちゃんパワーで元気に明るく

北和気生活交流グループ



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループと連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

昭和38年3月から始めて今年で47年を迎えました。

どのような活動をしていますか

味噌・こんにゃく・黒大豆の煮豆・豆腐・米粉パン・米粉ケーキなどをすべて地元産の材料で作っています。

メンバー構成は

50代から80代までの女性17人の仲間で楽しみながら仲良く頑張っています。

苦労話しは

肥料・農薬を少なくするため、EM菌を使用した「ボカシ」を作って野菜作りに活用しています。

楽しいことは何ですか

みんなで作った野菜を学校給食に納入して子ども達に喜んでもらっています。

最近うれしかったことは

平成20年に開かれた岡山県生活交流グループ50周年記念大会で、岡山県知事から感謝状をいただきました。

これからの活動は

いろいろなイベントに赤飯・山菜おこわ・白もち・豆もちなどを作って参加しています。皆さんの所へも行きますので是非お知らせください。

議会にひと言

これからも皆さんが楽しく生活できるように頑張ってください。

地域の生活文化を次世代へつなげていけるよう頑張ってください。

編集後記

満開のもとで行われた旭三休公園のさくらまつり。今は薄いピンクの桜から色鮮やかなツツジの花が満開となり山々は季節に応じて変化をしています。
農家では、これから始まる農繁期に向けて田植えの準備に多忙の日々を過ごしている様子。農村地域の風景も大きく変化していきます。

議会だよりも今回から表紙を一新、変化を遂げました。より見やすく、より読みやすくなるの思考錯誤を繰り返しながらではありますが、一歩ずつ前へ進めていきます。

皆様からのご感想を
よろしく願います。

(草苅記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

岩野 正則

金谷 高子

草苅 良明

松島 啓